

できることから!

リデュース
発生抑制

リユース
再使用

脱プラ生活に挑戦

使い捨てを減らす工夫、
繰り返し使う工夫を実践してみませんか?

① 使おうマイボトル



② 使おうマイバッグ



③ 選ぼう 詰め替え製品



④ 断ろう 使い捨て スプーン、フォーク、 ストロー



⑤ 選ぼう プラスチックの代替素材 (紙・木・竹など)



日本は1人当たりの
プラスチック容器包装
ごみの量が
世界で2番目の多さです

国連環境計画 (UNEP) の報告書より



目黒区のプラスチック削減の取組については
区のHPをご覧ください。



分けよう!

リサイクル
再生利用

生まれ変わるプラスチック

分別して「資源」の日に出しましょう。



プラスチック製の容器や包装



ペットボトル



キャップと
ラベルは
外して
プラへ

ペットボトルは横方向に
潰してください。



「資源」として出すプラスチックの汚れは落としましょう。

POINT
01 中身は残さない

POINT
02 汚れはさっとすすいで落とし、水を切る

POINT
03 汚れが落ちないものは「燃やすごみ」へ

詳しい分け方や出し方については区のHPをご覧ください。



編集 目黒区環境清掃部清掃リサイクル課

TEL. 03-5722-9883 FAX. 03-5722-9573 令和3年7月発行

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



減らそう



使い捨て プラスチック



プラスチックは非常に便利な素材ですが、一方で、プラスチックごみによる様々な地球規模の問題が発生しています。今、私たちは、プラスチックとのつきあい方を見直す必要があります。

目黒区

海洋プラスチックごみは身近な問題です!

世界全体では毎年約800万トンものプラスチックごみが海洋へ流出していると推計されていて、

このままでは、2050年には海洋における魚の量をプラスチックごみの量が上回ってしまうという予測まであります。(エレン・マッカーサー財団の報告書より)

プラスチックは、自然界で分解されにくく、風や海流によって世界の海を漂ったり、海底に堆積したりと、長期間にわたって残り続けます。

海に漂うプラスチックの破片や袋を、海鳥やウミガメ、クジラなどの**海洋生物**がエサと間違えて食べてしまう事象や、プラスチックの漁網にからまって死亡してしまう被害が多数報告されています。

ポイ捨ては
やめましょう

清掃活動に
参加しましょう

劣化して細かく碎けて、5mm以下になったプラスチックを**マイクロプラスチック**といいます。このマイクロプラスチックが食物連鎖などによって、生態系全体や人体に及ぼす影響が懸念されています。

プラスチックの生産・流通・消費・処理の各プロセスでは、**二酸化炭素(CO₂)**が排出されています。二酸化炭素の排出量の増加は、**地球温暖化**を進行させる原因となります。



目黒区は プラスチック・スマートキャンペーン(環境省)に参加しています。詳しくはキャンペーンサイトをご覧ください。

